

専門的かつ総合的な知見で事業をサポート。

専門的なノウハウの提供

1. 建築計画・設計監理
2. 改築改修計画・設計監理
3. 耐震診断・耐震設計監理
4. 省エネルギー改修計画・設計監理
5. 長期修繕計画の策定
6. 特殊建築物定期報告
7. 建物診断・劣化度調査、建築基準法遵法性調査

医療福祉の総合コンサルティング

1. 「補助金」「公的借入金」などの申請サポート
2. 起案から運営プロセスまでの総合コンサル
3. 医療法人・社会福祉法人の設立認可コンサル



会社概要

| | |
|-------|----------------------------------|
| 創業 | 1969年2月1日 |
| 資本金 | 3,000万円 |
| 代表取締役 | 代表取締役 会長 荻原 正之 代表取締役 社長 大澤 昌弘 |
| 事務所登録 | 一級建築士事務所 東京都知事登録・第9490号 |
| 管理建築士 | 山本慎也 一級建築士国土交通大臣登録・第303883号 |
| 加盟団体 | 社団法人 東京都建築士事務所協会、社団法人 日本医療福祉建築協会 |
| 主要取引先 | 社会福祉法人、医療法人、官公庁 |

SHINKANKYOSEKKEI

株式会社 新環境設計

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-9-15 ADMAXビル

TEL:03-5800-0321 FAX:03-5800-0505

www.shinkankyo.co.jp



SHIN
KANKYO
SEKKEI



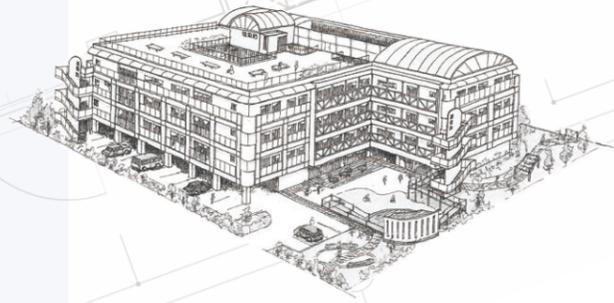
株式会社 新環境設計

1969年、新環境設計は福祉施設を専門とする設計事務所として創業しました。それから半世紀が経ち、時代が大きく変わっても福祉は社会に必要不可欠なものであり、その役目が終わることはありません。そんな中、いま令和の時代は、高齢者、障がい者、児童などの垣根を超え、支える側と支えられる側という立場の違いすらもなくした「地域共生社会」へと舵が切られ始めています。これまでの経済性とは別の豊かさを持つ新しい街づくり、環境づくりが進んでいくでしょう。そのとき福祉施設は、単なる建物ではなく人と人をつないでいくような場所でありたい。わたしたち新環境設計は、建物の完成を新たな暮らしの始まりと捉え、みなさまの毎日に寄り添いつづける設計事務所を目指します。

人をつなぐ施設。



1. 明確な施設コンセプト



3. 専門性を活かした取り組み

修繕／建替

利用者の生活を担保しながら進める改修工事は難易度の高いものですが、運営者・設計者・施工者による綿密な計画と工程管理で、信頼性の高い業務を遂行します。

安全性の追求

すべての障害物を取り除いて安全な空間を作れば、そこに障がい者は存在しなくなると考えます。すべての人が使いやすく、生活しやすいと感じられる建物づくりを目指します。

快適性の追求

すべての人が快適に過ごせるために細かな配慮を施し、直感的にわかりやすい空間を作ります。

使いやすさの追求

利用者とスタッフはもちろん、ご家族や地域の方など、さまざまな視点から使いやすさを実現します。



2. さまざまな視点から考え抜いた設計

利用者視点

施設は利用される方々の大切な居場所になります。24時間365日、変わることのない安らぎと居心地のよさを利用者の視点で設計します。

スタッフ視点

施設は人が人を支える空間です。スタッフというソフトが主で、建物というハードは従。気持ちよく働けるような環境をスタッフの視点で設計します。

経営者視点

事業の収益性、施設のランニングコストやメンテナンスまで運営に不可欠な経済性について、経営者の視点で長期的に考えます。

新環境設計の3つの特徴

医療や福祉は時代によって求められるものが異なります。これまでの数十年を支えてきた施設とこれからの数十年を担う施設が同じで良いわけではありません。新環境設計は医療福祉分野の専門家としてすべての方にとって心地のよい本質的な環境づくりを手掛けています。

コラボレーション

より良い提案のために、大学の研究室と共同の研究を手がけたり、空間デザイナーと協力してコンセプトづくりを行うなど、総合的な設計力の向上に努めています。

エコロジー／感染症対策

あらゆる企業がSDGsに取り組む時代、太陽熱や雨水など自然エネルギーの活用を提案します。感染症対策として換気や加湿に優れたゾーニング、抗菌素材などを採用します。